

いろいろな使いかた

その他設定

便器の水たまり面を下げる
(水の跳ね返り低減や検便のときなど)
水面下げる

便器とウォシュレットの水を
一定の間隔で自動で流す
凍結防止

電子音を
鳴らす/鳴らさない
電子音

1

メニュー/戻る 押す
MENU/RETURN

メニュー 1/4
1. お手入れ
2. 節電
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

2

▲で「その他設定」
▼を選ぶ

メニュー 4/4
3. オート機能
4. その他設定
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

押す

3

▲で「水面下げる」
▼を選ぶ

その他設定 1/9
1. 水面下げる
2. 凍結防止 切
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

押す

便器内の水が流れて
低い水位でたまる

〈設定完了〉

(戻るとき→メニュー/戻る MENU/RETURN)

お知らせ

- 検便時に使用するときは「オート便器洗浄」を「切」にしてください。(P.30)
- 便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。水面を下げて使いたい場合に、都度設定してください。

3

▲で「凍結防止」
▼を選ぶ

その他設定 2/9
1. 水面下げる
2. 凍結防止 ◀切▶
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

4

◀▶で「入/切」
を選ぶ

＜「入」に設定する場合＞
設定すると約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。

その他設定 2/9
1. 水面を下げる
2. 凍結防止 ◀入▶
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

押す

数分間隔で
便器洗浄します
設定する? ◀はい▶
▶で選ぶ⇒[●決定] 押す

押す

凍結防止を
入に設定しました

(戻るとき→メニュー/戻る MENU/RETURN)

3

▲で「電子音」
▼を選ぶ

その他設定 3/9
2. 凍結防止 切
3. 電子音 ◀入▶
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

4

◀▶で「入/切」
を選ぶ

その他設定 3/9
2. 凍結防止 切
3. 電子音 ◀切▶
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

押す

電子音を
切に設定しました

(戻るとき→メニュー/戻る MENU/RETURN)

汚物が流れにくいとき
**便器洗浄水量
6Lモード**

汚物が流れにくいとき
**便器洗浄水量
8Lモード**

「故障かな?と思ったら」の「汚物がきれいに流れない」(P.64、65)の内容をご確認のうえ、必要な場合のみ設定を行ってください。

「便器洗浄水量8Lモード」に設定している場合は、8Lモードの設定を解除してから行ってください。

「便器洗浄水量6Lモード」に設定している場合は、6Lモードの設定を解除してから行ってください。

1

メニュー/戻る 押す
MENU/RETURN

メニュー 1/4
1. お手入れ
2. 節電
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

2

▲で「その他設定」
▼を選ぶ

メニュー 4/4
3. オート機能
4. その他設定
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

押す

3

▲で「便器洗浄
水量6Lモード」
▼を選ぶ

その他設定 5/9
4. 水勢洗浄位置記憶
5. 便器洗浄水量 6L モード
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

4

押す

押すたびに切り替わる

便器洗浄水量を6 Lに変更

「する」とき 「しない」とき
ビッ ピーッ

床排水の場合は洗浄水量が、大3.8 L/小3.0 L
→大6.0 L/小5.0 Lになります。
(壁排水の場合は、大4.8 L/小3.4 L
→大6.0 L/小5.0 Lになります。)

3

▲で「便器洗浄
水量8Lモード」
▼を選ぶ

その他設定 6/9
5. 便器洗浄水量 6L モード
6. 便器洗浄水量 8L モード
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

4

押す

押すたびに切り替わる

便器洗浄水量を8 Lに変更

「する」とき 「しない」とき
ビッ ピーッ

床排水の場合は洗浄水量が、大3.8 L/小3.0 L
→大8.0 L/小6.0 Lになります。
(壁排水の場合は、大4.8 L/小3.4 L
→大8.0 L/小6.0 Lになります。)

使いかた

こんなときは

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.30)「オートふた開閉」(P.32)を「切」にしてください。

流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた(P.38)

- ・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



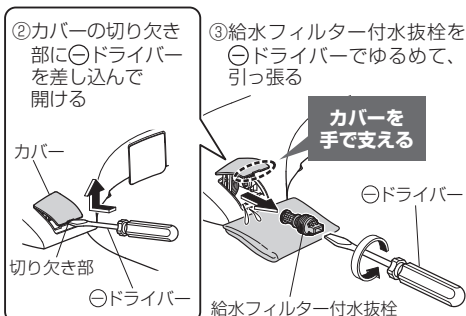
2 ノズルきれい WAND CLEAN 押す

- ・給水管の圧抜き

3 電源プラグを抜く

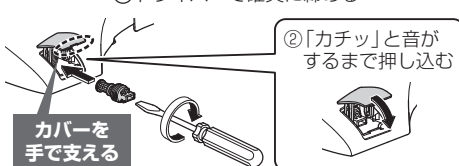
4 配管の水を抜く

- ①便座・便ふたを開ける



5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

- ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、
②ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

7 流す大 FLUSH を押して

- タンクの水を抜く※1

8 便座温度を「高」にする(P.22、23)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.61)

お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(製品内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

お願い ・凍結のおそれがあるときは、凍結予防を行ってください。(P.60)(製品が破損するおそれ)

ご注意 ・「お掃除リフト」(P.47)で本体が上がった状態で水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1 流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき
止水栓カバーを取りはずし、止水栓または元栓を閉める(P.4)
 - 2 ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める(P.60手順①)
 - 3 お願い ・止水栓は開けたままにしておいてください。
 - 4 ノズルきれい WAND CLEAN 押す
・給水管の圧抜き
 - 5 電源プラグを抜く
 - 6 配管の水を抜く(P.60手順④⑤)
- 凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)
- 再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(下記)

再通水のしかた

- 1 止水栓カバーを取りはずし、止水栓または元栓を開ける(P.13)
または、水抜栓を操作して、給水する
・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
 - 2 止水栓カバーを取り付ける
 - 3 電源プラグをコンセントに差し込む
・「運転」ランプが点灯する
 - 4 ①ノズルから水を出す
(1)手または腕で着座センサー部(詳細はP.8を参照)に触れたまま、
(2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
・水は紙コップなどで受けてください。
(3)手または腕を着座センサー部からはずす
② 流す大 FLUSH 押す※1
・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。(タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。)
給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。)
- 残水が凍結して水が出ないとき
・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める
- 5 便器に水がたまってから、もう一度 流す大 FLUSH を押す※1

